



水道の安全と安心を守る 水質基準って 知ってる？



水質基準って
なに？

水道水とは、川の水や、地下水などの「原水」に、浄水処理や塩素消毒といった手順を加えて、水道管を通り、蛇口まで届いたものです。おうちでは、そのまま飲んだり、料理やお風呂、洗たくなどに使われます。ほかにも、お店や病院など、さまざまなところで使われます。そういった時に、悪い影響がないように、守るべき品質のルールが「水質基準」として国で決められています。

水質基準は、

①蛇口からでた水道

水をそのまま一生飲ん

だとしても（※）、健康

に悪い影響がおこらな

いようにチェックすべ

き項目

②生活の中で水を使

いにくい味や色、にお

いなどの状態になった

りせず、水道管などが

ボロボロにならないよ

うにチェックすべき項

目の2タイプあり、全

部で51項目あります。

※具体的には、「毎日その

水道水を2リットル、一生飲

み続けた場合」という条件

です。

全国の水道局では、

それぞれいろいろな原

水を使っています。が、

「水質基準」をクリアし

た水道水になるよう

に、原水を浄水処理し

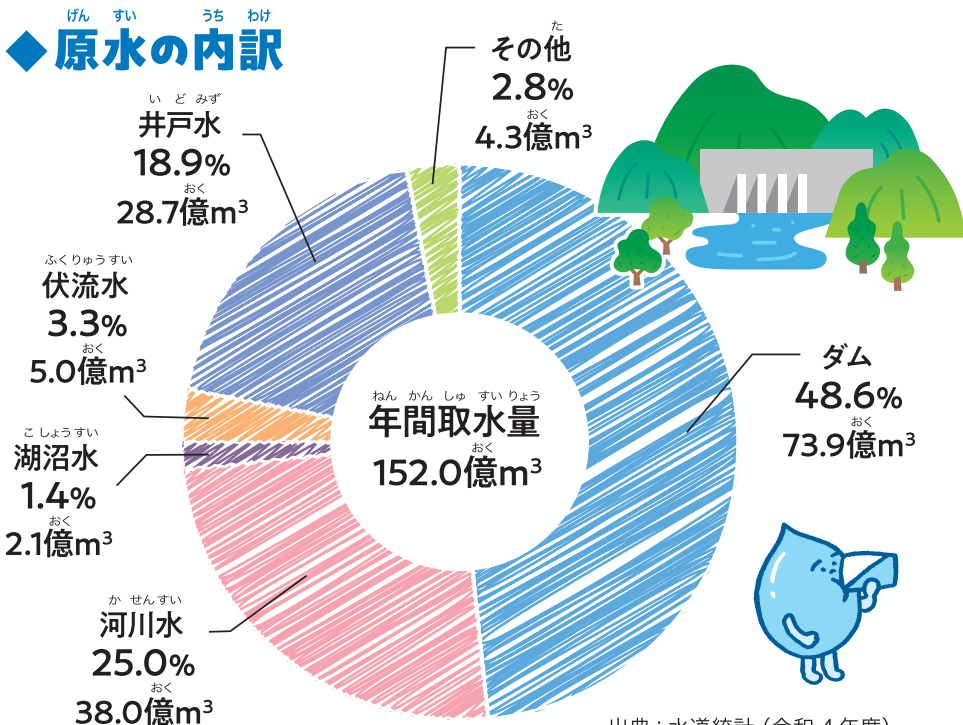
たり、塩素消毒したり

しています。さらに、

水道局などでは水質検

査をして、水質基準を

◆原水の内訳



出典：水道統計（令和4年度）

どんな チェック項目？

水質基準のうち、①の「健康」にかかわるチェック項目の中には、例えば「大腸菌」があります。

大腸菌が入った水を飲んでしまうと、おなかを壊してしまいます。そこで、水質基準では、水道水には大腸菌が「入っていないこと」がルールとなっています。大腸菌は、原水には入っていたとしても、塩素消毒によってなくなるのがわかっています。また、②の「状態」に

かわるチェック項目の中には、例えば「銅及びその化合物」があります。

銅は、人の体には毒になり、くいと考えると入っていますが、たくさん入っていると水の色が青くなります。水道水が青いと、飲むのが嫌だなどと思わせたり、洗たく物を青くしてしまったりしかねません。

そこで水質基準は、水道水には水が青くならない「1リットルあたり1・0ミリグラム以下しか入っていない」いけない」というルールになっています。

銅は、原水に入っていたとしても、浄水処理の中でとりのぞくことができます。このように、全部で51のチェック項目ごとに、量の水準が決まっています。